

4/1
TUESDAY

5/25
SUNDAY

6/14
SATURDAY

7/27
SUNDAY

9/20
SATURDAY

11/3
MONDAY

第35回九州産業大学美術館所蔵品＋展



パリ、ルオー、
ザッキン。
ボヘミアンたちの街



元倉眞琴
集まって住む

(上) ウジェーヌ・アジェ《サン・メダル通り》1899-1900年
(下) 元倉眞琴《熊本県営住宅竜蛇平団地》2000年代前半 個人蔵

ヒュッゲな暮らしを彩る 北欧のあかり展



(上左) グナー・ビルマン・ピーターセン《テーブルランプ モデル343》1962年 レ・クリント
(上右) ユハ・レイヴィスカ《グッドシェパード教会のペンダントランプ》2002年 メーカー不詳
(下) ボール・ヘニングセン《フロアランプ PH3¼-2¼フロア》1920年代《ペンダントランプ PH4¼-4》1926年 ルイス・ボルセン
(c) Kentauros Yasunaga

北欧諸国には優れたあかりの文化があります。現地の暮らしに見るあかりの扱い方、建築と調和的にデザインされたあかり、質の高い北欧の照明とそれを生み出したデザイナーたち、北欧のあかりと日本の関わりなどを学びながら、豊かなあかりの体験をお楽しみいただく展覧会です。

企画：九州産業大学建築都市工学部教授 小泉隆

入館料 一般：500円 大学生・専門学校生：250円
※詳細は決まり次第HPにてお知らせいたします。

HIDEKI NAKAJIMA MADE in JAPAN.TOKYO,KSU edition



中島英樹《TRANSIDIMENTIONAL GARDENS / Garden of Text》2021年 個人蔵

中島英樹(1961-2022)は、雑誌『Cut』、坂本龍一氏の書籍やCDジャケット、Shu Uemuraパッケージ、講談社現代書籍シリーズ、吉本ばなな氏の書籍、ファッションブランドの広告等幅広い分野で数多くのアートディレクション及びデザインを手がけました。
中島の没後、国内の美術館で最初の個展となります。

中島英樹 Hideki Nakajima Art Director/Graphic Designer
東京ADC(ADC賞、原弘賞2回)、ニューヨークADC(金賞5回、銀賞7回)、東京TDCグランプリ、ニューヨークTDCグランプリ他、多数受賞。
MoMA、ポンピドゥー・センター他、多様な国の美術館に多くの作品がパーマネントコレクションとして収蔵されている。

11/22-30 九芸のやきものー世代を超えて
九芸で育った卒業生と指導する教員の陶芸作品や、学生が取り組むプロジェクトを展示します。

12月予定 1F:アップサイクルアート展
「捨てるもの」から創る、アーティストたちの新たな挑戦。
2F:九州日仏学館連携企画展示 Denis Rouvre展
フランスの写真家Denis Rouvre氏による「フランスの食文化」をテーマにした作品を展示します。

1/10-12 九州産業大学 大学院 芸術研究科 修了作品展
令和7年度に修了する本学の大学院生による作品及び研究成果の展覧会です。

1月中旬予定 九州版画プロジェクト
九州、沖縄に在住する作家・教員・大学生・高校生による「版画」作品の展覧会です。

2/10-23 小田部黄太教授 退任記念展
彫刻家小田部黄太(九州産業大学造形短期大学部教授)による個展。

3月予定 九州産業大学 芸術学部 教員作品展
5学科10専攻コースを持つ本学芸術学部、各分野を担う教員・助手による作品、研究成果を紹介します。

！美術館でのマナー



作品に触れないでください



飲食物の持ち込みは禁止です



入口横の傘立てをご利用ください



電話の電源は切るか
マナーモードに設定してください



館内は撮影禁止です
ご了承ください



大きな音は立てないよう
お願いします



走り回る等の行為を
禁止しております



ペットを連れて
来館はできません



鉛筆以外での筆記用具でのメモはご遠慮ください
受付にて鉛筆の貸し出しを行なっております

主な所蔵品

絵画 宇治山哲平、海老原喜之助、桜井孝身、宮本三郎、村井正誠、
ペルナール・ビュフェ、野見山暁治など
版画 レンブラント・ファン・レイン、ジョルジュ・ルオー、
ヨゼフ・アルパース、藤田嗣治、浜田知明、池田満寿夫 など
彫刻 澄川喜一、高田博厚、豊福知徳、淀井敏夫、宮崎準之助、
江口遇、原田新八郎、土谷武 など
工芸 井上萬二、十四代・十五代酒井田柿右衛門、鈴田滋人、
中島宏、室瀬和美 など
デザイン アルヴァ・アアルト、ミハエル・トーネット、勝井三雄、磯崎新、
倉俣史朗 など
写真 石元泰博、大辻清司、ロベール・ドマシー、リゼット・モデル、
野村佐紀子 など

【順不同】

ご利用案内

【休館日】月曜日、夏季休業期間、年末年始、展示替え期間

【開館時間】10時～17時（入館は16時30分まで）

【入館料】一般：200(100)円、大学生・専門学校生：100(50)円

※()内は団体料金。20名以上からご利用いただけます。

※下記の方は無料でご観覧いただけます。

高校生以下の方、65歳以上の方、九州産業大学・九州産業大学造形短期大学の学生・教職員、九州産業大学公開講座の受講生、学校法人中村産業学園退職者の会会員、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライカードをお持ちの方及び介護者、福岡市文化芸術振興財団「wa+club(わたくらぶ)」会員

※各展覧会で変更する場合があります。決まり次第HPにてお知らせいたします。

【アクセス】

●JR 鹿児島本線：「九産大前」下車 徒歩 5 分

●西鉄バス：天神中央郵便局前 [18Aのりば] 天神日銀前 [19Aのりば] 急行(新宮中央駅東IKEA) 急行(赤間営業所)他

●車：福岡都市高速「香椎東」降車

国道3号線「九産大前」交差点より入る(本学駐車場をご利用ください)



Kyushu Sangyo University Museum of Kyushu Sangyo University

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1
tel:092-673-5160 fax:092-673-5757
Email:ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp

デザイン：芸術学部 ビジュアルデザイン学科 大村 碧

九州産業大学美術館

九州産業大学では、芸術学部を中心に、美術、工芸、デザイン、写真など多くの美術品を収集してきました。九州産業大学美術館は、これらのコレクションを本学の芸術教育研究に役立てるとともに、広く一般にも公開して地域の方々の楽しみと学習に資するため、2002年4月に開館しました。

本学が有する「ひと・もの・こと」を活用しながら、展覧会だけでなく、地域の方々を対象としたワークショップなどを実施し、地域の文化芸術振興に努めています。

【開設】

2002年4月1日 開館

2002年4月26日 博物館相当施設に指定

Museum of Kyushu Sangyo University

The Museum of Kyushu Sangyo University opened in April 2002, as the first university museum in Kyushu. The museum aims to vitalize art education and reserch and to contribute to the promotion of local cultural and art activities through collaboration and exchange with local communities especially in northern Kyushu.

The art museum boasts a collection of approximately 1000works covering a wide range of genres, such as painting, printing, sculpture, ceramic art, dyeing and weaving, lacquer crafts, metal crafts, design, and photography. In April 2002, the Fukuoka Prefectural Board of Education designated the museum as a “museum-equivalent institution” in terms of museum law. The museum functions as an OJT facility for students in KSU’s curator training course.

The museum serves as a cultural center for local residents to appreciate works of art, and also holds the Creativity Education Program for children, students and seniors.

General Information

Opening hours:10:00 to 17:00 (entrance closes at 16:30)

Closed:Mondays, Summer vacation, New Year holidays,
During the exhibition preparation periods

Admission:Adults / ￥200 (individual) / ￥100 (group)
Students/ ￥100 (individual) / ￥50 (group)

・ Senior high school students and younger people are free of charge.
・ A group fee is applicable to any group of 20 or more people.
・ Seniors aged 65 or over, holders of medical passbook, physical disability passbook or health and welfare passbook for the mentally disabled, as well as their caregivers, and “Wa no kai” members of the Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion, are entitled to a reduction or an exemption from admission fees.
・ Admission fees may change during special exhibitions. (Please see the [Exhibitions] on the website in Japanese.)

Museum of Kyushu Sangyo University

九州産業大学美術館 年間スケジュール

4月 2025 3月 2026

Annual Schedule

SNSでも情報を配信しています！



X



Instagram